

[別紙⑪]

第6学年 学級活動（人権） 学習指導略案

- 1 主 題 ジェンダーレス（性別で決めつけない）制服って何だろう
- 2 ね ら い
- ・ 集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする実践的な態度を育てる。
 - ・ 男女別の制服を着ることに悩みをもっている人がいることを知り、どうすればみんなが安心して学校生活を送ることができるのかを考えさせ、性の多様性を理解することの大切さを認識させる。
- 3 人権教育の内容 人間関係の活性化 3-(2)-ア
- 4 展 開

学習活動	主な発問と予想される反応	○指導上の留意点・評価（※）
<p>1 アンケート結果から本時の課題をつかむ。 【つかむ】 〈個→全体〉</p>	<p>○ アンケートを見て気づいたことを発表しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 制服で悩んでいる人がたくさんいる。 ・ 人によって着たい制服が違う。 ・ 人によって着たくない制服が違う。 	<p>○ 性に悩みがある人が感じる学校生活上での悩みを出し合うことで、本時の学習への意欲を高める。</p> <p>○ 制服を着ることに悩んでいる人がいることに気づかせる。</p>
<p>制服で悩んでいる人が安心して学校生活を送るには、どうすればよいのかを考えよう。</p>		
<p>2 どんな悩みがあるのか考える。 【さぐる】 〈個→全体〉</p>	<p>○ 男女別の制服に悩んでいる人は、どんなことに悩んでいるのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分らしさを否定されている感じがすること。 ・ 着たいものが着られないこと。 ・ 自分の性を表現できないこと。 ・ 周りからの目。 	<p>○ 問題を身近に感じられるように、実際に悩んでいる人の声を伝える。</p> <p>○ 性に悩みをもつ人にとって、男女別に制服を決められることは、自分を否定されることに繋がることを押さえる。</p>
<p>3 性別で決めつけない制服について知る。 【知る】【見つける】 〈個→班→全体〉</p>	<p>○ 今、性別で決めつけない制服を取り入れている学校が増えてきています。写真を見て気づいたことを発表しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 女の人がズボンをはいている。 ・ 上着が同じになっている。（性差がない） ・ 制服を自分で選べるようになっていく。 <p>○ 性別で決めつけない制服を取り入れたら、問題は解決するのでしょうか。自分たちにできることを考えてみましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 誰が何を着ても大丈夫という雰囲気をつくること。 ・ 言葉のかけ方に気をつける。「なぜ？」と聞かずに、「似合ってるね」など。 ・ 自分の着たいものを着ること。 	<p>○ 性別で決めつけない制服とこれまでの制服の写真を見比べさせることで、性差のない制服になっていることに気づかせる。</p> <p>○ これまでの制服に比べ、快適に過ごせるなどの機能面にも着目させる。</p> <p>○ 切り返しの発問をすることで、制度的な面だけではなく、誰しものが認め合える雰囲気をつくっていくことの大切さに気づかせる。</p> <p>※ みんなが安心して学校生活を送るために、自分たちにできることを考えようとしているか。 【発言・ワークシート】</p>
<p>4 本時の学習を振り返る。 〈個→全体〉</p>	<p>○ 今日の学習を振り返りましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 性別で決めつけない制服になったら、認め合う雰囲気大切にしていきたい。 ・ 制服で悩んでいる人がいることを初めて知った。 	<p>○ 本校でも制服についての話し合いが進められていることを伝え、問題を自分事として捉えられるようにする。</p>